2025/3/23

文部科学省日本語教師養成・研修推進拠点整備事業（近畿ブロック）

2024 年度内部評価結果報告書

文責：石川 慎一郎

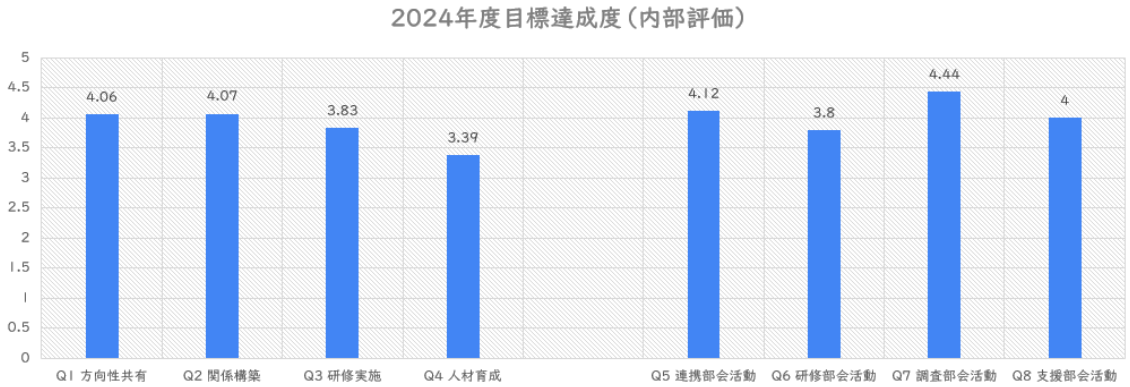
1. はじめに

本事業の内部評価とすべく、2025年 3 月に、構成員を対象とする内部調査を実施しました。本報告書では、内部評価の結果と分析をまとめます。

2. 調査の概要

〇調査日：2025 年 3 月 18 日（※年度末シンポジウ開催の前に実施）
〇回答者：56名
〇調査方法：4 つの事業目的の達成度、および、自身が参加する部会の目的達成度に関して、「そう思う」（5）～「そう思わない」（1）の 5 段階リカートスケールによる評価を実施。あわせて、4 事業目的に関して達成できた点と課題となった点を、部会活動に関して次年度の取り組み希望を記述式で回答。あわせて、事業をきっかけとして始まった連携について街灯がある場合は報告を求めた。回答は記名方式で実施。
〇質問項目
Q1 事業目的1（地域における日本語教育の方向性を共有する）について、本年度、近畿ブロック事業全体として、どの程度、達成できたと思いますか？
Q2 事業目的 2（地域の認定日本語教育機関、地方公共団体における担当部署、国際交流団体、NPO、民間企業等が参画するネットワークを構築する）について、本年度、
近畿ブロック事業全体として、 どの程度、達成できたと思いますか？
Q3 事業目的 3（日本語教師養成や研修の担い手の研修の実施や好事例を共有する）について、本年度、 近畿ブロック事業全体として、 どの程度、達成できたと思いますか？
Q4 事業目的 4（日本語教師養成・研修を担う高度人材の育成を図る）について、本年度、 近畿ブロック事業全体として、どの程度、達成できたと思いますか？
以下は、各自の所属部会についてのみ回答
Q5 連携部会の活動について、本年度、どの程度、狙いを達成できたと思いますか？
Q6 研修部会の活動について、本年度、どの程度、狙いを達成できたと思いますか？
Q7 調査部会の活動について、本年度、どの程度、狙いを達成できたと思いますか？
Q8 支援部会の活動について、本年度、どの程度、狙いを達成できたと思いますか？

2. 量的調査の結果と分析



〇結果の分析

1）4 つの事業目的のうち、Q1、Q2 については回答平均値が 4.0 を超えており、一定の成果の手ごたえが得られている。

2）Q3 については、合同部会後の2回の研修会の実施により 3.83 の値となっているが、年度末シンポの開催、また、次年度以降、研修会の開催実績を増やすことでさらなるスコアの上昇が期待される。

3）Q4 については、初年度ということもあり、明確な達成感は強くなかった。次年度以降、人材育成に関する年度目標を部会で討議し、目標達成を確実なものにしていく必要があろう。

4）部会別では、研修部会における達成度がやや低くなっているが、これは、同部会においては初年度が研修企画のための予備調査の段階であったためと推察される。2年目以降、同部会の企画による研修が立ち上がってくる中で、達成度の意識もさらに向上するものと推察される。

5）初年度の活動に対する構成員自己評価としては、およそ期待され水準が示されたと言えるが、次年度以降、年度目標の明確化により、事業目的の着実な遂行に留意していきたい。

3. 自由記述調査の結果と分析

3.1 自由記述 1 事業目的に関する達成点と課題点

Q1 方向性の共有について

〇（達成できたこと）12 月の研修会で地域日本語教育がテーマとなった。／12 月の第二回研修会で兵庫県、京都府について方向性を共有できたと思います。／3回の会議の実施、その都度の部会報告／ある程度のつながりを作ることと何をしているかの情報共有ができたと思います。／それぞれの機関においての事情、状況が把握できました。／それぞれの所属機関によって異なる課題や方向性もあったが、それを共有できたことも一つの成果であると思う。／それぞれの部会で方向性を定め、それを全体で共有し、さらに、各部会でその方向に沿って進め、その途中経過報告を部会

内で共有できた。／ネットワーキング／まずはお互いの機関の担当者と知り合いになることができたこと、部会に分かれて課題を共有し深い議論ができたこと／まずは基盤づくり／まずは方向性について考えるための基盤として、情報共有の場ができた。／一部課題の共有／各機関が日本語教育のこれからの方向性にどの程度、興味関心があるか把握できました。／各機関の方向性を共有できた／各教育機関の具体的な事例から現状や課題やを知ることや、各部会の話し合いで、共通の課題意識を持つことができた。／各校が教師研修に関しどのような取り組みをしている…あるいはできていない…その場合は何が妨げになっているなどの意見が聞けたこと。／各団体、機関の状況をある程度理解することができた。／学校教育における日本語教育の必要性を共有できました。／関係者間での意見交換や情報共有／関心を同じくしつつも、これまであまりつながりのなかった機関の方々とつながれたこと。／関西にある日本語教育機関と繋がれたこと／拠点メンバー間で共有を「開始」した。／近畿ブロックの多くの大学や日本語学校が参画して、互いが有する情報や知見を共有できたと思います。／近畿ブロックの日本語教師養成・研修を推進するための大学、日本語学校、地域の公共団体他の機関の関係者が一同に会し、部会ごとに各機関の事例の共有をしたり、現状や課題について洗い出しや意見交換を行い、整理・把握することができ、連携を推進していくための関係性の醸成ができた。／近畿圏の日本語教育を盛り上げていこうという機運が高まったと思う。／現在の近畿ブロックで課題につながる現状の洗い出しなど、現場で起こっている問題の共有が進んだ。／現在の日本語学校の状況などを知ることができました／現状と課題を多くの人が共有できたこと／講演会などを経て地域内の状況の共有ができた／国際交流協会、大学、日本語学校というこれまで別々の分野だと捉えていたところのみなさんと顔の見える関係になれ、同じ課題意識を共有することができたと思います。／今年度は顔合わせ程度だったかなと感じています。／最初しか参加していないため、評価できません。下記同様、全て3で評価しました。／参画機関がどういった取り組みをされているのか知ることができた。／支援部会メンバー間のネットワーク構築、連携や情報共有／色々なテーマで情報交換することができた。／数回に渡る会合で近畿ブロックの目指す方向性を共有できました。／他府県の情報を知ることによって、奈良県の現状をより明確にすることができた／多くの事例を共有できた。／多くの大学、日本語学校、行政機関がつながりを持ち、問題意識を共有できたように感じております。／大学、日本語学校、公的機関の動きが分かるようになった／大学、日本語学校、公的機関等、様々な日本語教育機関における現状と課題が会議参加者の中である程度共有できたと認識しています。／大学、日本語学校、地域団体といった垣根を越えた情報共有／大学や日本語学校などこれまで連携のなかった分野の方々のお話を聞くことができた。／地域における登録日本語教員養成機関，認定日本語教育機関の申請状況を共有できたこと／地域における日本語教育のニーズが具体的にイメージできるようになりました。／地域における日本語教育の現状や課題の共有が進んだ。／地域における日本語教育の実状の把握／日頃あまり接点のない大学、日本語学校、行政機関が共通する課題やそれぞれの立場で抱える困難を共有できただけでも大きな一歩であると思う。／日本語教育自体そして方向性に関して理解が進んだ／年に３回対面での合同部会を行うことで、方向性を共有できたと思います。／部会員の方の実践や地域の取り組みについて情報をいただき、参考になりました。／方向性の

共有の前提として、状況把握・認識の共有が進んだと思います。／方向性共有の前提となるネットワーキングが進んだ。

○（課題となったこと）「日本語教育の方向性の共有」という意味では、もう一歩踏み込んで地域として今後どういった取り組みをしていくのか考えていく必要があると思う。地域の特徴や課題を整理することも必要かもしれない。／「方向性を共有する」ところまではできなかったと思います。日本語教師のキャリア支援のための仕組みづくり（例えば、大学の養成課程と日本語教育機関との就職や教育実習のためのマッチングや情報共有）は次年度以降の課題だと思います。／３月の学生の発表を本学からできなかったこと。３月のこの時期に学生、私もスケジュール的に発表に向けて準備することが難しかったので、もし今後そのような機会があったら早めに取り組んでみたいと思います。／さらに詳細に個別の内容を確認する必要がある／さらに情報共有がすすめられるとよいと思います。／それぞれの現状や課題を共有した上での方向性の共有が次年度以降の課題であると思う。／それぞれの細かな事情までは必ずしも共有できておらず、具体的な協力体制づくりまでは十分に行えていないこと。／なし／より詳細な動きを共有できるとよい／課題への具体的取り組みは次年度からと思います。／会議参加メンバー以外の日本語教育機関の実態調査と将来のビジョンと実行プランの策定／各会合において、時間が少し足りなかったかと思います。／拠点メンバー間では共有を「開始」したものの、まだまだ不十分である。外部への公開（共有）には限りがあった。／共有をある程度できたとは思うが、それに対する行動を検討するまでいっていないのではないかと思う。／近畿のほかの地域の状況を共有すること／近畿の全体が把握できない／近畿ブロックとして文部科学省に要求していくことをまとめる。／近畿ブロックにおける日本語教師養成・研修を推進するためにこの拠点事業で今後どのような連携、研修、調査、支援を展開していくのか、具体的なロードマップや計画を含む方向性の決定までは進まなかった。／今後の研修の内容などの詰めができませんでした。／今後国際交流協会は教員養成にどのように関わっていくべきなのかということを次年度以降考えていきたいと思いました。／散在地域における外国につながる子どもの具体的な支援活動が次年度も課題だと思います／支援部会としての独自企画の研修会等が当初予定していたよりも回数が少なくなってしまった。／次年度の課題として、そのニーズを、どのように実現していくか、またそれぞれの機関がそれに向けてどのように連携していくかに関する意見交換があるとよいように思いました。／次年度以降、さらに交流の幅を広げることが課題になるかと思いました。／実際の交流の機会をさらに重ねることで共有が促進されることが期待できる。／実際の調査・分析／上記の申請についての具体的なノウハウを共有・議論すること／上記回答が「地域における」ものなのか、となると、この点はこれから具体化されていくのかなと感じています。／情報共有に基づいた将来に向けての取り組みはこれからの課題だと考えます。／情報共有に終始し、課題や困難を解決する具体的な方法について検討できなかった。／進まなかったということはないが、次年度は、部会で外国人児童生徒に対する支援に関する公開セミナーを主催し、地域社会に向けてその必要性の理解を深めることを行ったらよいと思う。／全体としての方向性共有はまだだが、１ 年目としてはまずまず。／其々、置かれている環境が異なるため、どのように絞り込んでいくか。／他地域、滋賀

県大阪府についても共有できるとよいと思います。／多様であることから、全体の「方向性」を打ち出すのは難しいと思います。／多様な課題や方向性が見えてきたが、それを整理することも必要だと思う。／大学と日本語学校のより具体的な連携事業が必要だと思っています。／地域の日本語教育についても機会があれば知りたいです／地域の日本語教育の方向性という点では自治体の参加が必要だと思う。自治体の担当者にも日本語教育の現状を知らせる必要がある。／特にありません。／特にございません／特になし／特になし／特になし／特になし／特になし／奈良県がここからさらに日本語教育をどのように発展させていくかについては具体的にできなかった／日本語学校、大学、自治体、外郭団体等それぞれの意見が交わりが少なかった気がしています。／日本語学校の現状を、日本語教員養成課程をもつ大学等の機関と共有すること／必要に応じて、部会を超えて連携していくこと／方向性を共有するまでには至っていない／問題点をしぼった全体シンポなどができればよかった

Q2 関係構築について

〇（達成できたこと）いくつかのネットワークについてはお声がけをし、アンケートに回答してもらえた／いくつかの事例を共有できた／この事業の開始自体が、ネットワーク構築の機会を与えてくれたと思います。／これまで面識のなかった参加者の方々の多くと話すことができた。／さまざまな機関の関係者が部会ごとまた全体で各機関の事例の共有をしたり、現状や課題について洗い出しや意見交換を行ったり、研修に参加したりする中で、異なる機関の状況の把握もでき、非常によい雰囲気で話しやすい関係性、ネットワークを構築できた。メーリングリストでの求人や研修などの情報提供も活発に行われており、本事業メンバー間のネットワークだけでなく、そこから所属先の関係者など近畿を中心とした同じ関心を持つ人々とのネットワークも広がった。／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／それぞれのフィールドの概要や抱えている課題について共有できた／どのような先生や行政の関係者がいるのかということについて知ることができた。（今まではそれぞれの学校や行政機関、国際交流団体の看板しか見えなかった）／ネットワークの構築／ネットワークの構築を「開始」した。／ネットワークの土台構築が出来つつあると思う。／"ネットワークを構築するという目的で集まれたこと／メーリングリスト"／まずは顔合わせ。／まずは知り合うこと、つながることが初年度の目標ではないかと思うので、この点は達成できたと思う。／会議を通じて、大学以外の方たちと知り合うことができ、お話を伺えたこと／会議参加者同士が積極的に交流し、情報交換や協力関係を構築することができた。／皆さんの取り組みやお悩みを聞けたことは良かった。／各機関の状況を共有しネットワークを構築できた／各種団体からの参加もあり、進んだと思う。／各部会において地域の日本語教育関連教員と十分なコミュニケーションとれたこと／各部会にそれぞれの機関が入り部会を進めることで、今までなかった関係及びネットワークの構築の第一歩が踏み出せたと思います。／顔見知りになるという意味でネットワークを構築することはある程度できたと思います（が、上記に大学は入っていますか？）。／顔合わせができた／機関・団体等の把握／拠点事業の会議の場だけでなく、それ以外のところでも声か

けや意見交換が行われるようになり、ネットワークが構築されていることを強く実感しています。／現時点での、ネット―ワクの現状は知れた。／自身の部会においてのネットワーク構築は出来たかと思います。／少なくとも部会メンバーのネットワークは築くことができたと思います。／上記のとおり、国際交流協会、大学、日本語学校等で顔の見える関係になれたことが進んだことだと思います。／新たにさまざまな機関の方々と意見交換の場を設けていただけたことは大いなる成果であると思います。／全体会だけでなく、部会で少人数でいろいろな方とお話しできる機会もあり、まずは異なる機関に所属する個人と個人とのつながりができたと思います。また、拠点メンバーも増え、多くの方が参加されており、ここに来ればいろいろな方とつながれると思える場所ができたと感じています。／他大学の状況について情報交換することができたので。／多くの機関の参加を得た／多くの機関団体と情報共有でき、課題について検討したこと／多くの団体が参加されていたと思います。／多様な組織からの参加者が定期的に集まる場ができたということ。／多様な分野の日本語教育関係者の間で顔の見える関係ができたということは有意義だった。／大学、日本語学校、公的機関同士が顔見知りとなった／大学、日本語学校、自治体などの立場が違う人たちが集う場は他になかなかないと思います。／大学、日本語学校等の日本語教育関係者が一同に会す機会を持ち、問題意識を共有できたこと。／大学同士の横のつながりと、大学と日本語学校のネットワークづくり／地域で日本語教育に携わる関係者と顔の見える繋がりができた。また、大学だけでなく、多様な機関の方々と繋がりができた。／地域における日本語教育支援の取り組みなどを知る機会があったこと／地域の認定日本語教育機関、地方公共団体における担当部署、国際交流団体などに参画していただいたおかげで、さまざまなネットワークが構築できたように感じております。／当初の目的である顔合わせと親睦が達成していると考える／同上／特に日本語学校関係者、行政関係者とのネットワークが進んだことは良かったと思います。／日本語教育に関わる方々とのネットワークが広がった。／部会内で、大学教員と地方公共団体、NPO の関係者の意見交換ができた。／本事業にはそれぞれの種別の機関から参加があり、少なくとも ３ 回の会合により、互いの存在や活動を知ることができたこと。／目的１に関連しますが、ネットワークの構築は進みつつあると考えます。／様々な機関の関係者と知り合いになることができ、他の学会や集まりでお会いした際にも挨拶したり話したりできた。／様々な教育機関の方とのつながりを持つことができた

〇（課題となったこと）（数字としてどの程度を目標にしているのか把握ができていませんが、）さらに広げていくこと／「ネットワーク」という言葉で、どこまでの関係性を求めるのかに寄るので、答えにくいが、「強い連携」と呼べるようなものは実現できていないこと。ただし、どの程度の強さのネットワークを求めているかも、参加者によって異なると考えられる。／「ネットワークを構築する」のが何を指す（どこまでのことを指す）のかよくわからないため、課題がわかりません。／NPO、民間企業からの参加を広げられるとよい。／このネットワークの網の目をさらに細かく、かつ広げていくこと／さらに参加団体が増えるとよい／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／どう連携を進めていくかを考えること／どの程度の範囲のネットワークを構築しなければならないのかがわからないため評価が難しいです。／ネットワークの構築を進めること。連携開始後も

モニタリングが必要。課題を吸い上げて解決策を探ること。／ネットワークの充実のためにML等がさらに活発に利用されるとよいと思います。／ネットワークを利用しどのように連携していくかは今後の課題と思う／ネットワーク構築と言っても、実際にどうやって、どのようになどの具体策がみえなかった。／ネットワーク構築までは達成できていない／より多様な関係機関の参加／一部、カバーの手薄な地域があること、大規模大学で未参加のところがあること／一方で他部局のメンバーとの疎通を十分に図ることが、個人的にはできませんでした。／会議を通して、これからどんどんつながりも強まっていくのではないかと期待していますし、会議の場以外でも、もっと連絡を取り合って何かができるようになればよいと思っています。／会議参加機関以外への波及／各部会の中で、個々の所属機関の現状や各メンバーの関心などについて把握することはできたが、拠点事業の開催日以外に部会のネットワーク内での具体的な検討や作業を計画的に進めるということはあまりなく、開催日の研修担当者や事例発表や報告の担当者と幹事校の取りまとめに頼るところが大きかった。次年度以降、具体的に本事業を推進する上で、各部会のネットワークを生かして活動を進めていくためには工夫が必要。／共有後、どのように連携していくことができるかの糸口を探っていくこと／協力体制の構築／個人的にも、その声かけや意見交換を、何か具体的な形にしていきたいと思いました。／互いの課題について共有することまではできなかったように感じる／構築したネットワークをどう活用するかということを具体的に考える。／今年のような活動を継続していければ良いと思います。／今年度できたつながりを発展させていきたい／今年度は繋がりができたので、それをぜひ実際の養成・研修に活かしたい。／今年度構築できた土台を基に、拡充していくことが次年度の課題であると思う。／次年度以降も継続することが大切だと感じました。／上記と同じで、何か問題を改善するような話にはならなかった気がしています。／数回の会合で顔合わせはできましたが、ネットワーク構築によって何が実現可能になるのかがメンバー間で共有できていないように思いました。／全ての課題を検討解決することは難しいが、「今」必要な課題を解決することが課題だと思います。どの課題も重要ですが、順位を付けて順番に解決することが必要かもしれません／全回参加できなかったので十分に達成できなかったという意味です。／全体としてのネットワーク構築は、あまり機会がありませんでした。／全体にいえることですが、日程が合わずすべてには参加できなかったのが個人的には残念だった。／他の部会の方々とはあまり話せなかった。／大学と民間との違いなどをどのようにすり合わせていくか。／単なる情報共有を越えて具体的に協働するプロジェクトをさらに多く実施できればよいと思う。／地方公共団体における関係部署の参画があればもっと良いのではないかと思いました。／地方公共団体における担当部署や民間企業との連携については、今後の課題だと思う。／地方公共団体や国際交流団体、NPO、民間企業等の参加が少なかった。／同上／特にございません／特になし／特になし／特になし／特になし／日本語学校と地域、NPOからの参加がもっと多いとよいかと思いました。／日本語学校やボランティアの実態については、まだ知らないことが多くあると思いました。／部会に参加している機関・団体だけでなく、それ以外にネットワークを広げていくのは今後の課題かと思います。／本格的な連携。／民間企業の参加はなかったので、それが課題である。

Q3 研修実施について

〇（達成できたこと）「開始」した段階。／2 回研修会が行われたことと、開催はまだですが、3/22にスチューデントフォーラム、スチューデントセッションが企画されていますので、達成できたと言ってよいと思います。／9月の研修は分野を越えて、協働で取り組める内容で、かつ現場における教師研修でも役立つ内容で充実していた。／"あまり関わっていなかったのですが、進んだことはたくさんあるかと思います／"／いくつかの機関における現状を把握することができた／いくつかの機関の様子がわかった。／いくつかの事例を知ることができました。／これまでに何をやってきたか等は共有できているものの、必ずしも「好事例の共有」というより、課題の共有に重点が置かれていたと思われる。／これまではあまりお話を伺うことのできなかった他機関の取り組みをいろいろ知ることができました。／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／まだ3月の会合に参加していませんが、今話題になっており、自分自身も一番気になる登録日本語教員養成の話がテーマになっているのでよいと思います。／一年目としては上出来だと思います。／課題の洗い出しと他の教育機関の実例を共有できた／各機関と協力して研修の実施ができた／各機関の実践状況はある程度共有できた。／各人の発表等が参考になりました。／各大学の日本語教師養成事情などは共有できたと思います。／研修が実施されましたし、さらに近く行われる 3 月 22 日のシンポジウムで日本語教師養成課程についてもある程度共有できると思われます。／研修で何が重要かという共通見解の洗い出しができたと思います。／研修の担い手に向けたセミナーを行った。／研修や事例報告会が実施できた。／研修部会での共有、講演会での共有／研修部会のほうで共有ができたのではないかと思う。参画機関の先生が学校見学に来てくださったり、養成課程と現場をつなぐことができた。／研修部会メンバーとして、各部会においてメンバーの養成や研修の取り組みについて意見交換したり、ブレインストーミングすることができ、好事例や課題、連携のヒントなどを得ることができた。また、初回のワークショップ研修を担当し、日本語教師のためのオンラインコースを活用した反転的な教師研修体験とそれをもとに教師教育者向けの研修を企画するワークショップの中で、事例を共有し、現職の教師教育者を含めて既存の教師向けの e ラーニングリソースの教師養成や研修における活用についてアイデア交換をすることができた。2 回目の研修も、地方公共団体や大学の事例紹介をもとに地域の日本語教育と教師養成や研修のあり方を考えることができた。／現在抱える課題の洗い出しや、各学校の現状を共有することができた。／現場での事例紹介／公開研究会の実施／公開研修会2回を開催できた／講演やワークショップを通して、グッドプラクティスを知ることはできました。／参加している部会内での事例共有はできた。／私自身は全く存じ上げなかったので、他所のお話を伺う機会をいただき、大変勉強になりました。／事例の共有／事例の共有／情報共有はできたと思う／石川先生が極めて計画的に拠点事業としてのシンポや研修を企画してくださったため、ブロック事業全体として好事例等を共有できたと思う。／他校の日本語教員養成課程担当教員の取り組みを聞けたこと／他大学の日本語教師養成についてお話を伺えたこと／大学、日本語学校の状況を共有していただけたのはとても有難

かったです。／大学さんの事例をいくつか聞くことができた／大学や日本語学校など日本語教育機関の事例を共有できた。／大阪樟蔭女子大学を中心としたネットワークの集まりが開催されたこと（私は校務のため不参加でしたが…）／登録日本語教員の設置に伴い、日本語教員養成課程を有する各大学の様々な事情を知ることができた。／同上／特に午後の研修で新しい情報を得たり、自身の振り返りができた。／二度、セミナーに参加し、新たな知見を得ることができました。／日本語学校の現状について紹介することができた／日本語学校等での進んだ研修好事例の共有／日本語教育に取り組む若手の発表企画で好事例も共有されると思います。／部会のほうで、研修の機会を共有しあい、学びの場が提供されていた。拠点メンバーの多くは、日本語教師養成や研修の担い手になることも多いと思いますので、会議の場で他機関の実情を知ることができたことは、日本語教師養成や研修をするうえで、重要な情報となりました。／部会参加者にとっての勉強の機会は多くあったと考えます。／問題点は見えてきているように思う。／様々な機関から発表や発信があり、情報共有ができた。／連携部会の９月の第二回第三回の部会会議でいくつかの大学と日本語学校の事例が共有され、とてもよかったと思います。

〇（課題となったこと）

「研修の担い手の研修」がどのようなものかわかりませんが、さらに実施されるとありがたいです。／１ 年という短い期間では、日本語教師養成や研修の担い手の研修実施を積み重ねるまでは時間が不十分ではないかと思います。／オリジナル研修の提案には至っていない／ここは回答できません。すみません。／さらなる研修や好事例を共有できたらよい。／さらに多くの機関を調査する必要がある／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／そこから、どういった方向性が必要なのか、具体策を提案していくことが必要だと思った。／テーマと範囲（対象）が限られていた。開催機会を増やしていくことが課題。／ひきつづき 登録関連のテーマを扱っていただきたい。／まだお話を伺っていない機関の日本語教師養成についてもお話を伺って、学ばせていただきたい／もう少し時間的な余裕があれば、更に良いかと思います。／引き続き連携を深めていきたい。／課題への具体的な取組み／会合が年に ３ 回と少なかったので，取り組み事態を聞く機会が少なかったこと／拠点事業メンバー間の好事例の共有や研修はできたが、それを各所属機関に持ち帰ったり、機関間で連携したりして、養成や研修に活かすことが十分にできているかは課題。／近畿ブロック事業が射程におく参画団体が抱える問題を明らかにし、連携を通じて新しいものを作っていくことが必要かと思いました。／研修における課題がいろいろ見えてきたので、それらをどう解決していくかや、今後の研修のあり方についてより具体的に考えてみたいと思いました。／研修の好事例を共有できるとさらによいと思います。／研修の実施が次年度以降の課題となるでしょうか。／研修を行うところまではいかなかった。既述のように、参加者は多様な組織に所属しているので、全員を対象とした研修のデザインは難しいと思います。／研修部会などで議論を深めているのかもしれないが、全体には浸透できていない？／好事例の共有をさらに進められるとよい。／好事例ばかりでなく、うまくいかなかった例も共有してほしい。／好事例は集まったといえるのでしょうか／今後、もっと具体的な日本語教師養成や研修の担い手の研修について、考える機会が増え

ると良いと思います。／今後は特に実践研修（教育実習）に関する情報共有をしたい。／今年度、行政、国際交流協会、大学、日本語学校とそれぞれにとって当たり前のことでも、お互いに知らないことが多いということがよくわかりました。今後も、もっと情報共有を続けていく必要があると思います。／参加していない部会以外での事例共有／事例の共有／事例を増やすことでしょうか。／次年度は研修も計画してくださっていますので、とても楽しみです。／自分自身があまり活動に参加できなかった。／所属機関によって、研修の重点がかなり異なることがわかりました。日本語教師全体にとって有益な研修とは何かというのは、なかなか難しいと感じています。／上記のように課題という観点では共有出来た部分もあるが、好事例の共有というのは、これからになるのではないか。／他の大学や日本語学校の事例を共有するとよいと思います。／体系的な研修があってもよいと思います。／大学さん以外の事例も知りたかったです。／置かれている環境により、より細かな分類をして話し合えばどうかと思う。／同上／特にありません。／特にございません／特になし／特になし／特になし／特になし／特になし／特になし。／日程が合わず、関心のある講演に参加できなかったのが個人的には残念だった。／日本語教師養成や研修の担い手の研修については、次年度以降、拡充していく必要があると思う。／部会ごとの研修会や事例報告会などを複数回開催し、受講機会を拡大できればよいと思う。／部会参加者以外への機会の提供は今後の課題と考えます。／養成機関と日本語学校のつながりを強化したい

Q4 人材育成について

○（達成できたこと）「育成」そのものは、まだできたとは言えない。／3 月のシンポジウムのように学生と現役の日本語学校関係者が交流できる場を企画したこと／3 月の最終回に院生や学部生の発表の場があることは、拠点事業自体が人材育成につながっていると感じる。／ICT 教材の活用について、学ぶ機会があった／JF 熊野先生のワークショップがそれにあたるでしょうか。／あまり関わっていなかったのですが、進んだことはたくさんあるかと思います／こちらは 3 月 22 日のセミナーで実施されると思うので、楽しみにしています。／この事業目的についてどのような形で実施されたのかを把握していないため、評価が難しいです。／この取り組みはされていたのでしょうか。気づいておりませんでしたが…。／これも他の問いと同様、一年目としては上出来だと思います。／すみません、育成という観点でどこまで進んだか判断しかねます。／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／まずは連携から、その一歩は踏み出せた／わからない。／意見交換の場があったこと／横のつながりが広がったことにより情報共有ができたのは良かったです。また JF との連携もできたのは良かったと思います。／課題の把握／課題認識／会合で話し合いが行われ、養成・研修担当の高度人材育成の必要性は共有できたかと思います。／概要は把握できた。／各回の会合の参加者とあれこれ意見交換できたこと／各機関と協力して人材募集などの情報を効率よく共有できた／関係者の問題意識の共有／拠点事業会議を通じて、日本語教師養成・研修の現状と目指すべき方向性やそれを担う教師教育人材の育成についての理解が進んだ／具体的に取り組んだ内容を思いつかないのですが、この事業に参画していることが育成になって

いる／研修会の実施／現状の共有／高度人材の育成がどういったものなのか、また少し、現状がわかったと思う。／高度人材の育成に関する調査などが行われた。／高度人材育成の前提となるネットワーキングはできた。／国際交流基金から講師をお招きして研修を実施したことが、次の研修の担い手のイメージ形成につながったと思います。／事業目的 2 に同じ／事業目的3とも重なりますが、各大学の日本語教師養成事情などは共有できたと思います。／事業目的3と同様、午後の研修が役に立ったと思う。／事業目的 3 と同様ですが、事例が共有されていること／少なくとも教師養成に従事しておられる関係者間のネットワーク構築は、極めて順調に進んでいると思う。／上と同じですが、連携部会の 9 月の第二回第三回の部会会議でいくつかの大学と日本語学校の事例が共有され、とてもよかったと思います。／上記の通り、行政、国際交流協会、大学、日本語学校等いろんな分野の日本語教育機関同士、お互いの状況を知ることができました。／情報共有に留まっていると感じる／人材育成の土台となる大学等の養成機関の方とのつながりができた／全体では、どの程度の達成が出来たのかはわかりませんが、部署としては、ある程度、満足しています。／大学さんの試みを聞くことができました。／調査部会で国家資格化の制度変化と養成課程の内容と実習の問題についてと学習支援者（ボランティア）の養成・研修について今後調査をするということが決まったこと。／登録日本語教員制度に関する情報共有／同上／日本語教育に取り組む若手の発表と交流企画で進むと思います。／日本語教員養成課程で学ぶ学生が参画する機会を作った。／年度末（3/22）のシンポジウムに若手研究者の研究や実践の発信の場が設けられたこと。／年度末に予定されているシンポは、日本語教育を志す院生・学生の勉強の機会として非常に貴重なものと考えます。／普段あまり聞くことのない他機関の事例を知ることができました。／部会のほうで、研修の機会を共有しあい、学びの場が提供されていた。拠点メンバーの多くは、日本語教師養成や研修の担い手になることも多いと思いますので、会議の場で他機関の実情を知ることができたことは、日本語教師養成や研修をするうえで、重要な情報となりました。／問題点の洗い出しと其々の違いの把握／養成の現状は少しではあるが把握することができた

〇（課題となったこと）
（どのような知識・経験を有していたら「高度人材」と言えるのかがよく分からず、どのような課題が残されているのかが見通せません）／「育成を図る」の具体化とかででしょうか／「日本語教育の参照枠」についての研修もあるとよいと考えます。／「日本語教師養成・研修を担う高度人材」というのがどういうものなのかが明確になっていない。／3月のシンポジウム以降、研修を担う高度人材の育成がさらに図かれることを期待しております。／ここは回答できません。すみません。／この取り組みは本事業の最終ゴールの一つであると思います。このゴールを目指して次年度も取り組んでいく必要があると思います。／この目的にフォーカスした何か活動があってもいい／これも事業目的 3 と同様ですが、人材育成にはより長い時間が必要だと考えます。／すみません。まだ参加して間もなく、よくわからないというのが本音です。／ほかの目的に比べるとまだあまり意見交換ができていない領域であるように思うので、次年度以降はこちらについても意識的に意見交換していきたいと思いました。／もう少し色々な大学の事例をお聞きしたい／より多くの人が参加できる、日本語教師

養成・研修を担う高度人材の育成の場が必要だと感じています。／わからない。／解決策の検討／教師養成や研修を担う高度人材育成のための研修については、次年度以降取り組んでいく課題であると思う。／近畿圏の教師養成・研修をリードしていく高度人材の育成について、具体的にどのように推進していくかの中長期的な計画には至らなかった。／具体策の提案、提起などが次年度の課題であると思う。／具体的な協力体制の構築／具体的な動きを期待したい／具体的な養成や育成の内容を共有する。／継続していければ良いと思います。／結局のところ、文科省の認可を得るためにどうすればいいか、といったことに関心が向きがちだったのではないか。／研修のあり方は、対象者が多様で取り組みが難しいと思いました。／高度人材の育成はまだこれからだと思う。／高度人材を育成するという目的を達成するための具体的な行動や、必要な課題まで共有することがあまりできなかったと思う。／今後も分野ごと、それぞれの状況を更に共有する必要があると思います。そうすることで、全体像を俯瞰でき、自分たちの守備範囲というか、やるべき人材育成が更にはっきりするのではないかと思いました。／今年度の成果を今後も継続していくことが最大の課題だと思う。／事業目的3と重なりますが、体系的なものがあると、この拠点事業内だけでなく、今後別の場所でも利用可能なものとなると思います。／事例発表と情報共有を踏まえて、提言などに結び付けられるとよいかと思いました。／実際に育成を図るところまではいっていない。／上記のシンポのような機会が今後増えると大変ありがたく思います。／上記回答と同じです。／人材育成の方法もさることながら、まずどのような人材を求めているのかと言うことが微妙にズレてきているのではないか…／人材育成を図ることについては、さらなる調査が必要になる／他の部署での様子、結果等がもう少しわかればより良いかと思います。／他部会の情報（例えば、登録日本語教員の養成・実践研修機関での教育（実習）内容について等）についても詳しく知りたいです。／多様な人材の育成が必要であることを共通認識として進めていけばよいと思う。／大学、日本語学校、公的機関の連携を模索すべきか／登録日本語教員制度がスタートしたばかりであるため，どのへんを重点的に行えばよいか，まだ見えていない部分も多いと感じられること／同上／特なし／特にありません。／特にございません／特になし／特になし／特になし／特になし／日本語教育の世界にどのように興味を持ってもらうのか、日本語教員をどのように育成していくのか、検討していければと思います。／日本語教師教育者の養成の面では、まだ何をすべきか（方法）が見えてこないので、海外の言語教師教育者の事例などから考えられるといいかと思います。／目標があいまいなので、なかなか課題の特定はむつかしい／連携を生かした具体的な発展課題への取組み／話し合いは行われましたが、具体的な方向性が見えていないこと。次年度以降に期待しています。

〇結果の分析

1）回答コメントには、ともかくも、初年度において、近畿地区において関係者が一堂に会する場ができたことを評価する声が多かった。

2）また、年間3回の合同部会、2回の公開研修会、年度末のシンポの企画・開催を通して、連携と学びの機会を得られたという評価も多かった。

3）課題としては、まず第一に、目標の明確化と共有が重要である。初年度は走りながら体制を作っ

てきた面が強かったが、2025 年度の初回の部会では、再度、事業の目的を各自で共有し、それぞれの部会で共通事業目標に対して、年度内に何をどこまで行うのかを審議し、それに沿って年間の活動をくみ上げていくことが必要だと思われる。
4）もう1つの課題として、参加メンバーの主体的な参加意識を今まで以上に喚起していくことも重要と思われる。初年度は、拠点校のみが企画や運営の中心になった面があるが、今後は、参加されている部会メンバーがそれぞれに意見やアイデアを出して、事業を引っ張っていただくような形で事業を進めていくことが重要と思われる。

3.2 自由記述 2 部会活動における今後の取り組み案

Q5 連携部会

どのように連携をして、人材育成をしていくのかを皆さんで意見を出し合い検討し、実際にその試みを行っていきたい。／どんな連携ができるのか、考えてみる？／以前共有してくださった各フィールドごとのアンケート結果についてさらに議論を深めたい／企画されたテーマはどれも重要だったが、今後はディスカッションの時間を増やしてほしい／共通の具体的課題の洗い出し、その課題ごとにチームで取り組むこと。／今の状況報告会をルーチンで回していきたい／今の段階では特にありません／今年度に引き続き、各メンバーによる現状と課題の報告が継続されるとよいと思います。／小、中、高の教員採用に、日本語科の教員枠を設けることを推進するための方策を考える。／登録日本語教員制度ができたことに伴い、登録実践研修機関、登録日本語教員養成機関としての登録に関する体験談や苦労話、各大学が行われている工夫などを伺ってみたいです。（今年度の継続となります。）／登録日本語教員養成申請関連の情報交換／特になし／日本語教育界の有識者でなく、他分野の実践家・研究者による講演やワークショップが実現できるといいかなと思いました。／日本語教師のキャリア支援のための仕組みづくり（例えば、大学の養成課程と日本語教育機関との就職や教育実習のためのマッチングや情報共有）

Q6 研修部会

課題を踏まえた研修のデザイン／各校が参加できる合同での現職者研修実施、特に「日本語教育の参照枠」に沿った目標設定・学習活動・評価に関する研修を行い、同時に研修実施ができる人材を育成すること。たとえば、予算の関係で来年度事業打ち切りが決まった文科省の「留学分野における『日本語教育の参照枠』を活用した教育モデル開発・普及事業」で企画実施された研修を、近畿地区で実施するなど、すでにあるものを有効利用して成果を上げたい。／教師教育者を対象にした具体的な研修を希望します。あるいは、そのような計画でも。／近畿圏のメンバーの中で文科省の各種日本語教師研修（初任、中堅、主任・コーディネーター、モデル事業）などを担った経験のある方々からの研修の事例、他の地域ブロックで先行して養成・研修の組織化や連携、研修など

を展開している事例などについて、具体的にねらいやノウハウについて情報共有したり、研修運営上のポイントや課題を共有したりする機会があれば、参考にしたい／研修の中身のより具体的な情報共有や議論／今年度に引き続き研修を実施し高度な人材育成を行っていきたい／新しい制度における、各期間の実情等を紹介して欲しいです。／毎回のテーマを設定した研修の実施。

Q7 調査部会

企画段階である座談会やアンケート調査の実施をぜひ実現させたいです。／今年度決めた日本語教育実習の調査を、次年度進めていけたらと思います。一番重要な調査だと思っています。／次年度は実際の調査を実施する予定なので、それを計画通りに遂行したい。／日本語教師としての教育を受けた学生に対する産業界の期待や理解度の調査／本調査実施。結果を報告する機会を持つ。報告書の発行。

Q8 支援部会

もっと参加者間で情報共有をして、何らかの提言などにまとめていけたらと思います。／外国につながる子どもの支援について散在地域でどのような取り組みが行われているのか、その効果などを活動に組み込めればと思います。／既に計画してくださっていますが、関心のあるテーマについて学びを深める研修があるとありがたいと思う。／項目や方法を統一した実態やニーズの調査を行い、問題を絞り込んだ上で、問題解決に向けた研修会を開催できると良いと思います。／支援部会のテーマは、日本語教育専門家だけでは解決できない課題です。他分野の専門家と、1つのテーマで議論するような研修が実施と良いと感じています。また、学校現場の先生方に参加していただくにはどうしたらよいかも考える必要があると感じています。／初等教育・中等教育の教員養成を担当する教員との意見交換がしたい。／情報発信のためのシステム構築と、研修企画段階での情報共有により、より幅広く、多くの研修の機会を設けること。／齊藤先生が企画してくださっている発達課題を抱える JSL 児童への支援に関する研修会

〇結果の分析
1）連携部会については、ネットワークの拡大や情報交換の継続とともに、具体的な課題別に WG を設けるなどして、活動の実質をあげていくことが課題になると思われる。その際、大学と日本語学校マッチングの仕組みの検討なども必要になろう。
2）研修部会については、初年度の予備調査を経て、実際の研修提案や、研修実施に結び付けていくことが課題になると思われる。合同部会後の公開研修会と、部会独自の研修会というツートラックでの検討もありうる。
3）調査部会については、初年度の予備的検討を経て、予備調査・本調査・結果分析のプロセスを回していくことが次年度の課題になると思われる。

4）支援部会については、初年度の意見交換を経て、たとえば、報告書の作成、部会としての提言書の作成などを目指した活動が次年度の課題になると思われる。

3.3 自由記述 3 事業をきっかけとした連携の実現について

・天理大では、エイム奈良国際アカデミー（奈良県橿原市）に日本語教育実習の指導を依頼している
・関西地区の日本語支援者のためのグループを形成した（関西こどもの日本語支援者ネットワーク（KNN））。
・KNN 主催のシンポジウムを事業参画団体である大阪樟蔭女子大学と立命館大学国際言語文化研究所の共催で行った。
・KNN の基調講演者として拠点長の石川教授（神戸大学）を招聘した。
・KNN において、東大阪市教育委員会、大阪府で日本語支援をする初等中等教育の教諭、NPO 団体によるパネルディスカッションを行った。
・国際交流基金関西国際センター（JFKC）では、拠点 ML を活用し、センターにおける講師募集の情報を共有できた。
・国際交流基金関西国際センター（JFKC）では、所属教員が、拠点事業のメーリングリストで案内のあった大阪教育大学のアプリのセミナーに参加したり、方言研究会で所属機関の教員が関西弁のｅラーニング教材を紹介するなどの情報交換や出講などを通じて交流を深め、その後、同大学で企画された関連書籍の寄稿依頼などにつながった。関西大学の日本語教師養成課程の学部生・院生が所属機関（JFKC）に来訪し（本事業メンバーの引率者含む）、JF の海外の日本語教育支援事業や KC の日本語研修の特徴や KC で開発した教材、e ラーニングの紹介、日本語教員の海外派遣や JF での業務経験などについて情報共有した。
・甲南大学では、神戸大学から G-Navi 事業についての情報を得て、この事業を本学で活用することを検討した。
・コミュニカ学院では、神戸大学石川教授の指導する大学院生による視察・授業見学を受け入れた。
・南大阪国際語学学校では、開催したイベントにおいて、拠点参加校である大阪教育大学の櫛引教授と学生の参加を得た。
・神戸大では、事業でのつながりを出発点として、国際交流基金関西国際センターと正式な研究連携協定を結ぶことができた。
・奈良教育大では、本事業でつながりができた北河内地域の日本語教育関係者と LINE グループを作成し、情報・意見交換を行っている。
・「日本語教師教育者ネットワーク」においては、神戸大の石川教授や林教授の新規参加を得た。

3.4 自由記述 4 事業全体への意見・感想

・近畿圏の現状についてかなり理解が進みました。

・幹事校の拠点事業の運営やご案内が大変すばらしく、近畿圏の日本語教育関係機関の風通しをよくするというねらいについては高次達成につながっている。異なる機関の方々との交流の機会、互いに学び合い、情報交換できる機会を提供いただいていることに感謝するとともに引き続き連携、協力して近畿圏の日本語教師養成・研修を推進したい。
・拠点事業で、多くの現状を知り、共有、考える機会を得ました。次年度はより活発に発信できるような機会を作るお手伝いができればと思います。
・拠点大学として神戸大学の皆様には大変お世話になりました。今後はご負担の軽減なども検討し、「持続可能な」形を模索していく必要があると思います。
・対面での部会以外でどれだけつながりを持てるかが重要だと思います。ML で情報の発信受信はできますが、双方向のやりとりをどう行うか、考えられたらよいと思います。
・日本語教育関係者が集まる場を作ってくださってありがとうございます。